

近畿税政連

T540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp

第228号

平成29年(2017年)

11月10日

発行所 近畿税理士政治連盟

発行人 久保直己/編集人 小川由美子



那谷寺（石川県小松市）

撮影：東 智之（上京支部）

- 第48回衆議院議員総選挙 推薦候補者34名が当選 3
- 近畿税理士政治連盟役員名簿 13



皆様はご存じでしょうか。近畿税理士会が発行する「支部運営必携」の中に「近畿税理士政治連盟の活動・運営」という表題で30頁にわたり、税政連の活動や必要性が5項目にわけて、しっかりと掲載されていることを。その項目とは、1. 税政連活動、2. 税政連関係の組織、3. 税理士による国会議員等後援会の活動、4. 国会議員選挙における推薦、5. 税理士会支部の支援である。それ以外にも規約や国会議員選挙等の推薦基準などの掲載もある。私はこれを見て、目から鱗が落ちる思いがした。税政連活動は税理士である自分に、全く関係がないことだと言わんばかりの言葉を聞くことがあった。その言葉が正しければ、近畿税理士会が発

税政連の必要性

行する支部運営必携に、税政連活動を掲載することはない。税政連は税理士会が特別法人であり政治活動ができないため、税理士会と不即不離・表裏一体となって政治活動を行うことから、近畿税理士会の会員をもって近畿税政連を組織しているのだ。そして、その活動は、税理士会の方針にしたがい必要な政治活動を行うことを目的とし、税理士制度の維持発展のために行っている。その活動は税理士会支部の積極的な支援により支えられ、支部の尽力がなければ成果が得られないのだ。税理士である以上、税政連活動の利益は全ての税理士が等しく享受している。しかし一部の会員のみが会費を支払い、その活動を支えている。どうか税政連の活動に理解と関心を持っていただきたい。

租税と国家、国民そして政治について考える

-政治と税理士の接点-

近畿税理士政治連盟副会長 後安宏彦

1. 租税と国家、国民について

憲法の前文において「日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じ行動し、…ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する」と規定し、国民主権を宣言している。そして憲法30条に「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う」と規定している。最高裁の判例では「民主主義国家にあっては、国家の維持及び活動に必要な経費は、主権者たる国民が共同の費用として代表者を通じて定めるところにより自ら負担すべきものである」という考え方を示している。つまり、国家は主権者たる国民の自律的団体であり、租税は、国家の維持及び活動に必要なものであり、代表者を通じて定め、国民が負担するものと考えられるのである。このように、租税は、国家と国民の関係から発生するものであり、その点から租税というものを理解する必要がある。



後安宏彦

2. 租税と私有財産制との関わりについて…これが重要

租税の根拠についてもう少し考えてみよう。憲法29条第1項に「財産権は、これを侵してはならない」と規定している。これは、国民に私有財産制度を認めるものであるが、国家は生産する財産を原則的に持つことがなくなり、国家が営利行為を行うことによる資金の調達ができなくなるのである。そこで、租税による国家資金の調達が必要となるのである。このように、租税と私有財産制度は表裏一体の関係となるのである。私有財産制度は自由主義経済の根幹をなすものであり、租税は会費というようなものではなく、それを維持するために必然的に発生するものであるといえる。

3. 租税と立法について

憲法84条に「あらたに租税を課し、又は現行の租税を変更するには、法律又は法律の定める条件によることを必要とする」と規定している。租税は公共サービスの提供のために資金を調達し、国民の富の一部を強制的に国家の手に移すものであり、その賦課・徴収は法律の根拠に基づいて行わなければならない。判例によると「租税は国家の財政需要を充足するに加えて、所得の再分配、資源の適正配分、景気の調整等の諸機能を有しており、国民の税負担を定めるのについて…、立法府の政策的、技術的な判断に委ねるほかはない」としている。要約すると、租税は唯一立法により定められ、その過程は、正当に選挙された代表者（国会議員）が決定することになる。このように、この立法の過程は、選挙で選ばれた国会議員に委ねられる。これは、政治そのものである。

4. 租税と政治と税理士…どうしてもこの結論に行き着く

もっと身近に考えてみよう。税理士会の租税に関する建議は、実務を知る税務の専門家の立場で、税制・税務行政の改善に努める社会公共的な使命と同時に責任を遂行する観点から行われている。したがって、建議書を作成することが最終目的ではなく、その実現ができる初めて使命の達成と責任が遂行されたことになるのである。租税の立法過程は、国会議員に委ねられ、まさしく政治の中心項目なのである。税理士法第1条の税理士の社会公共的な使命、税理士法第49条の11の建議、そして実現するという責任が税理士会に課されているのである。これらのことから、税理士は、必然的に税に関する政治と関わり合いを持つようになっているのである。この点を是非ご理解いただきたい。

目 次

焦点	1	後援会ニュース	4
租税と国家、国民		支部連ニュース	6
そして政治について考える	2	かんさいすずめ	15
第48回衆議院議員通常選挙結果	3	銀河系	15

第48回
衆議院議員総選挙

推薦候補者34名が当選

第48回衆議院議員総選挙が平成29年10月10日公示、同22日投票により施行された。即日開票の結果、当連盟推薦候補者36名のうち34名が当選を果たした。

当選された候補者には、政界でのますますの活躍を期待するものである。また納税者のための公正な税制確立のため、力強いご支援を頂戴したい。また今回惜しくも涙を呑んだ候補者には次回に向けて捲土重来を期されることを念願する。

第48回衆議院議員総選挙における当連盟推薦候補者と選挙結果

支部連	選挙区	議員等氏名	政党	元・前	後援会	日税政 推 薦	当 落
大阪府 第 1	大阪 1	大西宏幸	自民	前	○	○	当選
	大阪 2	左藤 章	自民	前	○	○	当選
	大阪 3	佐藤茂樹	公明	前	○	○	当選
大阪府 第 2	大阪 4	中山泰秀	自民	前	○	○	当選
	大阪 5	国重徹	公明	前		○	当選
	大阪 11	平野博文	無所属	前	○	○	当選
	大阪 12	北川知克	自民	前	○	○	当選
大阪府 第 3	大阪 7	渡嘉敷奈緒美	自民	前	○	○	当選
	大阪 8	大塚高司	自民	前	○	○	当選
	大阪 9	原田憲治	自民	前	○	○	当選
	大阪 10	松浪健太	維新	前	○	○	落選
大阪府 第 4	大阪 13	宗清皇一	自民	前	○	○	当選
		西野弘一	無所属	元	○	○	落選
	大阪 14	長尾敬	自民	前		○	当選
	大阪 15	竹本直一	自民	前	○	○	当選
大阪府 第 5	大阪 16	北側一雄	公明	前	○	○	当選
	大阪 19	谷川とも	自民	前		○	比例当選
京都府	京都 1	伊吹文明	自民	前	○	○	当選
	京都 2	前原誠司	無所属	前	○	○	当選
	京都 3	泉健太	希望	前	○	○	当選
	京都 6	安藤裕	自民	前	○	○	当選
兵庫県 第 1	兵庫 1	盛山正仁	自民	前	○	○	当選
	兵庫 3	関芳弘	自民	前	○	○	当選
兵庫県 第 2	兵庫 9	西村康穎	自民	前	○	○	当選
	兵庫 10	渡海紀三郎	自民	前	○	○	当選
兵庫県 第 4	兵庫 11	松本剛明	自民	前	○	○	当選
	兵庫 12	山口壯	自民	前	○	○	当選
奈良県	奈良 1	小林茂樹	自民	元		○	当選
	奈良 2	高市早苗	自民	前	○	○	当選
	奈良 3	田野瀬太道	自民	前	○	○	当選
	比例近畿	奥野信亮	自民	前	○	○	当選
和歌山県	和歌山 1	岸本周平	希望	前	○	○	当選
	和歌山 2	石田真敏	自民	前	○	○	当選
	和歌山 3	二階俊博	自民	前	○	○	当選
滋賀県	滋賀 1	大岡敏孝	自民	前		○	当選
	滋賀 2	上野賢一郎	自民	前	○	○	当選
計	36名				30名	36名	34名

後援会ニュース

山口つよし後援会

日時 平成29年 8月26日
 場所 縁杵（相生市）
 来賓 山口つよし 衆議院議員
 徳富 勲 近税政副会長
 田 達満 近税政幹事長
 後藤加代子 兵庫県第4支部連会長



大谷充廣会員の司会により開会し、久野喜作会員が議長に選出され、第1号議案から第4号議案までの全議案が可決承認された。

●山口つよし衆議院議員 あいさつ

今現在の役職は、安全保障委員長を拝命しております。現在の北朝鮮は昔の日本と状況が似ている。まず油を止められて日本は真珠湾を攻撃した。北朝鮮も油と石炭を止められて、ミサイルを頻繁に打ち込んでくる共通点がある。両者の違いは核を持っているか持っていないかの違いである。経済面では、昨今よく言われております、資本主義の限界論ですが、私も同意見であり新しい秩序の中で体制を見直す必要がある。

●徳富勲近税政副会長 あいさつ

現在税政連の会費の収納率が低下し、このままだと本来の税政連活動ができない。

●田達満近税政幹事長

税制改正については単一税率の維持、インボイス方式は採用しないこと、償却資産税の賦課期日を1月1日から決算末日への変更などを要望する。

(姫路支部 上野政則)

高市早苗後援会

日時 平成29年 9月 3日
 場所 天理観光農園
 来賓 高市 早苗 衆議院議員（前総務大臣）
 久保 直己 近税政会長
 田 达満 近税政幹事長

武野勝文会長を議長として、議案審議を行い、各議案とも異議なく可決承認された。

ただ、奈良県の衆議院の区割りが4から3に減区になり、選挙区の行政区に変更があるので、臨時総会を開く必要があることを述べた。



●久保会長のあいさつ

高市議員には先日の近税政会員研修会においてご講演をいただき非常に感謝している。長きにわたり総務大臣を務められた高市議員を今後とも支えて、要望を伝えたい。

●高市衆議院議員（前総務大臣）のあいさつ

①待機児童が減らるのは数え方に間違いがある。市役所の都市計画や整備計画で市民動静が変わることを考慮されていないなどがあるので、カウントの取り方の変更を指示している。

②太陽光パネルの廃棄が、今後パネルに入っている有害物質や土壤汚染など問題が生じる恐れがあり、規制をしていない現状を懸念して、近く環境省と経産省から勧告が出る予定だ。

●懇親会

税理士やその家族が、いつもの焼肉で楽しい時間を共有できた。（葛城支部 吉田廣彰）

世耕弘成後援会

日時 平成29年9月9日
 場所 アミティ工（和歌山市）
 来賓 世耕 弘成 参議院議員（秘書）
 後安 宏彦 近税政副会長
 田 達満 近税政幹事長
 森村 透 和歌山県支部連会長
 堀博充会員の司会により開会し、速水慎一郎後援会長から、開会のあいさつがあった。



定期大会では、司会者より川口昌紀会員が議長に指名された。刀祢真大幹事長が上程した議案は、すべて可決承認され、議長の川口会員は降壇した。来賓の後安近税政副会長、森村和歌山県支部連会長および世耕参議院議員の緒方秘書より祝辞があった。後安近税政副会長から、税政連は建議書を作成することが目的ではなく、実現することである旨の説明があった。また、世耕参議院議員（緒方秘書）からは、このたび議員がアジア経済会議のため定期大会に出席できなかったが、定期大会のために作成してくれた心温まるビデオメッセージを披露した。そこには、中小企業が最も頼りにする税理士とともに中小企業支援に積極的に取り組む議員の近況報告があった。最後は、寺坂雄次後援会副会長のあいさつで閉会した。

定期大会終了後、同じくアミティ工において懇親会を開催した。溝上裕章後援会副会長による乾杯の発声ではじまり、支部を越えて交流を深め、最後は、司会者の瀬藤啓司会員の閉会謝辞で終了した。 (和歌山支部 小西里枝)

岸本周平後援会

日時 平成29年9月16日
 場所 ダイワロイネットホテル和歌山
 来賓 岸本 周平 衆議院議員
 後安 宏彦 近税政副会長
 田 達満 近税政幹事長
 森村 透 近税政和歌山県支部連会長
 はじめに、岸本衆議院議員より国政報告が行われた。そこでは、マスコミで報道され続いている民進党解党論の真相について岸本議員がどう考えるか明らかにした。岸本議員は「日本の土着の文化・伝統を守るために、国民のみなさんに選択の意志を持って欲しい」と2大政党が必要であると訴え、政治の世界に身を投じて、こうして応援してくれることに大変感謝した。



次に定期大会に移り、西川明伸会員の司会により開会し、大西省悟後援会会长よりあいさつがあった。定期大会では、議長に坂本忠進会員が選ばれ、スムーズな議事進行により、上程された議案はすべて可決承認された。最後に後安近税政副会長の祝辞と藤原光男会計責任者による閉会あいさつがあり、定期大会が終了した。

国政報告会・定期大会終了後、来賓の田近税政幹事長によるあいさつがあり、岸本議員へ税制改正に関する要望書を大西後援会会长から手渡した。森村近税政和歌山県支部連会長による乾杯のあいさつの後、懇親会でも岸本議員のホットな話題に会場は湧いた。最後に、後援会長による閉会謝辞をもって懇親会は盛会裏に終了した。 (和歌山支部 小西里枝)

むねきよ皇一後援会



日 時 平成29年 9月22日
 場 所 マテリ（東大阪市）
 来 賓 河田 秀雄 近税政副会長
 弓手 宏亮 近税政大阪府第4支部連会長
 濱田 明久 近税会東大阪支部長
 岩城彰会員が議長となり、すべての議案が可決承認された。その後、来賓の祝辞、国政報告会、懇親会と続き和やかなうちに閉会した。

●河田秀雄 近税政副会長 あいさつ

近税政の総会が終わったばかりの時に選挙となり、近税政の人事も決まっておらず慌てております。

●弓手宏亮 支部連会長 あいさつ

今月初めに支部連会長に就任した途端に大変なことになりました。

●濱田明久 東大阪支部長 あいさつ

宗清先生は政権与党におられるのですから、われわれ税理士の要望を国会に届けていただけるようよろしくお願いします。

●宗清皇一 衆議院議員 国政報告

現在、日本は国際環境の大きな変化の中にいます。特に北朝鮮の核開発、弾道ミサイルの問題は重要です。憲法改正については、なぜ、どこを、どのように改正するのかという国民的議論が不可欠です。29年度予算と財政状況は社会保障の増加が問題です。

(東大阪支部 中口哲久)

支部連ニュース

大阪府第1支部連



来賓 大西 宏幸 衆議院議員
 杉 久武 参議院議員
 松川 るい 参議院議員
 尾立 源幸 前参議院議員
 柳本 卓治 参議院議員（代理）
 左藤 章 衆議院議員（秘書）
 脇阪 説男 近税政副会長

大阪府第1支部連の第22回定期大会が、8月21日に大成閣（東心斎橋）で開催された。

今井基剛支部連会長のあいさつに始まり、山川典男会員が議長に選出され、すべての議案が滞りなく可決承認された。来賓の祝辞として、脇阪近税政副会長のあいさつがあり、久保近税政会長メッセージが代読され、また政治連盟への寄付金についてのお礼が述べられた。祝電披露、閉会の辞と続き、無事に大会は終了した。

続いて、各議員からの国政報告及び政治活動報告があり、最近のマスコミを賑わせている憲法改正にまつわり生じた問題や天皇陛下のご譲位問題、消費税の複数税率問題、国の借金問題、朝鮮半島など国際情勢、議員の定数についてその区割り問題など多岐に渡り聴きごたえのあるもの多かった。

懇親会は終始和やかな雰囲気の中で催され、盛会のうちに終わった。（天王寺支部 倉矢勇）

大阪府第2支部連

9月8日、ホテル阪急インターナショナルにおいて、第22回定期大会が開催された。

来賓として河田秀雄近税政副会長が出席した。



横田治幹事長が開会を宣言し、来賓の紹介に続き、神吉康史第2支部連会長から「平成29年度には執行部が福島支部に移ることになり、2年間横田幹事長ともども大変お世話になりました。また、年々会費の収納率も下がってきており、周りの先生方に会費納入をすすめていただきたい」とあいさつがあった。

次いで神吉第2支部連会長が議長となり、議案審議に入った。第1号議案から第6号議案が上程され、最後に役員改選について審議し、全議案が満場一致で可決承認された。

その後来賓の河田近税政副会長の祝辞につづき「設立50周年協力募金には多数の先生方の寄付をいただきありがとうございます。来年12月までには総選挙もあります」とあいさつをした。

続いて国政報告会となり、吉田おさむ元衆議院議員、北川知克衆議院議員、中山泰秀衆議院議員、平野博文衆議院議員、尾立源幸前参議院議員、國重徹衆議院議員から報告があった。

最後に仲田むつみ第2支部連副会長から国会議員等に謝辞と陳情があり、報告会は終了した。

その後、会場を移して懇親会が開催された。多数の会員の参加のもと、和やかな雰囲気の内に盛会裏に終了した。

(住吉支部 仕田原恒雄)

大阪府第3支部連

日時 平成29年8月30日

場所 吹田さんくすホール

来賓 原田憲治衆議院議員、松浪健太衆議院議員、大塚高司衆議院議員(代理)、渡嘉敷奈緒美衆議院議員(代理)、河田秀雄近税政副会長



司会による来賓紹介の後、金子薰会長より「AIなどの普及で、税理士の職の危うさが語られる。しかし忖度も理解できないAIに我々の仕事ができるのか。これから求められることは多く、中小企業の代弁者として意見を述べていく立場である」と開会のあいさつがあった。

続いて議長として上西通氏会員が選出され、直ちに議案審議に入り、全ての議案が原案どおり満場一致で可決承認された。高砂昭宏新会長からは「我々の活動を理解してくれる代議士の方々を推薦していくのが税政連である。税理士職を魅力あるものにするため今後のご協力をお願いしたい」とあいさつがあった。

定期大会の後、来賓である原田議員より「政治においても経営指導においても心通うアドバイスを」とあり、同じく松浪議員より「税は政治の根幹でありこれからも税理士の声を国会に届けていく」と、また河田副会長からは記念募金のお礼とマイナンバーについてなど、本定期大会へのお祝いの言葉とともに述べられた。

その後開催された懇親会では、終始和やかな雰囲気の中、盛会のうちに閉会した。

(豊能支部 田中順也)

大阪府第4支部連

日時 平成29年9月5日
 場所 ホテルアヴィーナ大阪
 来賓 脇阪 説男 近税政副会長



弓手宏亮 新支部連会長

瀧藤憲彦副会長の開会宣言があり、石津良行支部連会長より第4支部連の歴史について説明があり「本総会において新役員の人事が行われるので審議をよろしくお願いする」とあいさつがあった。

竹綱敏真支部連副会長が議長に選出され、新役員承認を含む全ての議案が可決承認された。

その後、脇阪近税政副会長から久保会長のメッセージの代読があり「近畿税理士政治連盟は近畿税理士会のエンジンであり、これを動かすには燃料、すなわち皆様の会費が必要となる。引き続き会費納入率の向上に努めてほしい」とあいさつがあった。

次に、新しく就任した弓手宏亮支部連会長が「近畿税理士会には経済活動をする阪奈税協と近畿税理士政治連盟の2つの外郭団体があるが、前者は毎年収益を上げているが後者の政治連盟のほうは会費納入率は低下する現状である。八尾・富田林・東大阪の支部長の皆様には、納付率の向上をよろしくおねがいする」とあいさつがあった。

濱田明久支部連副会長の閉会宣言の後、懇親会が開催され、終始和やかな雰囲気の中で歓談を行い、盛会のうちに散会となった。

(東大阪支部 中口哲久)

大阪府第5支部連

日時 平成29年9月8日
 場所 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
 来賓 谷川 とむ 衆議院議員
 北側 一雄 衆議院議員秘書
 尾立 源幸 前参議院議員
 長安 豊 元衆議院議員
 田 達満 近税政幹事長



北野信成 支部連会長

吉田英明幹事長の司会による開会あいさつで定期大会が始まり、北野信成支部連会長より会費収納率が純増したのは第5支部連だけであり誇りに思う。今後も税政連へのご協力をお願いしますとのあいさつがあった。

幸野陸紀会員が議長に選任され、すべての議案が原案通り可決承認された。新役員に選ばれた呑海英治新会長の就任あいさつがあった。

田近税政幹事長より、税制改正要望で消費税単一税率維持を今後も訴えていく。会費収納率純増に対するお礼と今後も純増へ努力していただきたい。また50周年協力募金のお礼を述べ、久保近税政会長のメッセージを代読披露した。

寺井秀次副会長が閉会を宣し、定期大会は無事終了した。

その後、脇馬義宏副会長の司会で懇親会が開始された。呑海会長のあいさつの後、4人の来賓よりあいさつをいただいた。そして安藤治彦副会長による乾杯の発声で始まり、終始和やかな雰囲気で意見交換が行われ、高岩弘至副会長の一丁締めで閉会となった。(堺支部 東俊夫)

京都府支部連

京都府支部連合会の第35回定期大会が8月25日に、ホテルグランヴィア京都において開催された。近税政本部からは原綱宗総務会長、近税会京都府支部連より森敏行会長が出席した。

また、京都府支部連が推薦、後援する伊吹文明衆議院議員、安藤裕衆議院議員、福山哲郎参議院議員、西田昌司参議院議員、二之湯智参議院議員が来賓として参加した。

大会に先立ち、室谷澄男会長から「この2年間、推薦する国会議員の方には、税理士会の税制建議実現のために、お力添えいただいたことに深くお礼を申し上げる。その活動を支えてくれるのは、会員の先生方から納めていただく会費なので、今後とも税政連に対するご協力を宜しくお願いしたい」と退任のあいさつをした。



「後はヨロシク！」室谷会長（左）から
坂部新会長（右）へ力強い引継ぎの瞬間

議事終了後、新たに選任された坂部浩新会長は「身に余る重い役職をいただき、大変な重圧を感じている。本日、ご承認いただいた基本方針に則り、国会議員等後援会の活動支援と会費の収納率の向上に努める所存である。具体的には、今後はもっと若い世代の会員にも、税政連の活動をご理解いただき、国会議員等後援会の会員になって、積極的な活動にご参加いただきたいと思っている」と就任の抱負を述べた。

今回の大会で一新されたメンバーにより、京都府支部連の活動がさらに活性化されることを期待したい。

（上京支部 矢田善久）

兵庫県第1支部連

9月1日、神戸市中央区にあるホテルモントレ神戸において、兵庫県第1支部連合会第36回定期大会が開催された。

来賓として赤羽一嘉衆議院議員、関芳弘衆議院議員、盛山正仁衆議院議員、伊藤孝江参議院議員、徳富勲近税政副会長、橋本恭典神戸税理士協同組合理事長が出席した。



寺崎明幹事長による司会のもと、相内隆作神戸支部長による開会宣言がなされ、寺内設昭支部連会長より、日頃の税政連活動の取組みに感謝する旨のあいさつがあった。

そして議長に蝉川寛嗣会員が選出され、議事に入った。第1号議案から第5号議案まで、すべて原案どおり、可決承認された。

続いて来賓より、徳富近税政副会長「本日は選挙への臨戦態勢ともうかがえる盛大な会だ、税政連の意義を再認識して活動を」橋本神戸税協理事長「税理士会、税政連、協同組合が協力し、3者1体での活動を」とのあいさつがあった。

引き続き出席議員より、日頃の支援に対する感謝の意とともに、関議員「中小企業支援に力を注ぎたい」伊藤議員「税理士の声を国政へ届けたい」盛山議員「国土交通分野に力を注ぎたい」赤羽議員「災害税制恒久化のように、税理士の声を国政へ繋げたい」とのあいさつがあった。

最後に、麻木邦子芦屋支部長により閉会の言葉が述べられ、定期大会は終了した。

引き続き懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。

（芦屋支部 吉田智代）

兵庫県第2支部連

兵庫県第2支部連合会の定期大会が、8月25日、グリーンヒル明石にて開催された。

来賓として徳富勲近税政副会長が出席した。



定期大会は、藤本晃会員の司会で始まり、はじめに北村光子支部連会長による開会のことばとあいさつがあった。

その後、下山仁会員が議長に選出され、直ちに議案審議に入り、第1号議案から第5号議案まで、慎重な審議ののち、原案通り、すべての議案について可決承認された。

定期大会は藤本秀樹会員のあいさつで閉会し、その後役員会が開催された。小川幸夫会員の開会のことばの後、会費収納率が高かった西脇支部と社支部に対して金一封の贈呈と表彰が行われた。

来賓あいさつとして、徳富副会長から「今年の税政連の建議内容として、①軽減税率の撤廃の申し入れ②所得控除のうち人的控除の見直し③中小企業への欠損金控除の制限及び外形標準課税の不適用④償却資産税の撤廃⑤個人事業者番号の導入といった項目がある。税政連は税理士の社会的地位の向上、職域拡大を目指し活動しているが、明石支部における会費収納率は20年前より減少している。税政連がないと税理士の主張の場が失われるので、その意義をもっと広めていきたい」と説明があった。

引き続き懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。

(明石支部 川淵佳子)

兵庫県第3支部連

日時 平成29年9月6日

場所 都ホテルニューアルカイック

来賓 鴻池 祥筆 参議院議員

徳富 勲 近税政副会長



兵庫県第3支部連合会の定期大会が開催された。佐茂省治会員の司会による開会のことばの後、山陰雅史支部連会長より「税政連活動のご協力に感謝します」とあいさつがあった。

次に、議事に入り西浦文彦会員が議長となり、長谷川雅行幹事長による議案説明、島佐一郎会計監事の報告の後、すべて可決承認された。また役員改選により阪上恭一新支部連会長ほか新役員が選任された。最後に岡田彰徳副会長の閉会のことばで定期大会は終了した。

●徳富勲 近税政副会長 あいさつ

この時期、兵庫県の4つの支部連の定期大会に出席している。それぞれの税理士による後援会の国会議員にも来ていただき、要望書を手渡し、実現をお願いしている。

●鴻池祥筆 参議院議員 国政報告

衆議院議員から参議院議員へと移り、約30年間、国会で意見を述べてきた。私は平和主義者であります。そして中小企業にとっても、税理士の方々のご要望のためにも今後も頑張ります。(平成30年度税制改正に関する要望を手交)

●懇親会

佐茂会員の司会で開宴され、池口達生副会長の乾杯のあいさつと続き、阪上新会長の閉宴のことばで終了した。 (西宮支部 森本幸子)

兵庫県第4支部連

日時 平成29年9月7日
 場所 姫路商工会議所
 来賓 徳富 勲 近税政副会長
 澤田 千博 近税会副会長



第36回定期大会が、山下哲会員の司会により開会し、議長に安田宏会員が選出され、第1号議案から第5号議案までの全議案が可決承認された。

●徳富勲 近税政副会長 あいさつ

先日亡くなられた井戸本前副会長とは長きに渡って税政連活動を行ってきました。非常に淋しく残念ではありますが、その井戸本さんの後を引き継いで田達満幹事長と現在一緒に兵庫県連の各支部を回っています。

兵庫県下には4つの支部連がありますが、支部連によって議員が参加するところもあります。質問等が多くあり活発な意見交換が行われており、支部連によって差があります。会費の収納率が低下しており、このままでは、税政連の目的である税理士の地位向上と職域拡大、建議の実現という目的の達成が難しくなっている。

●澤田千博 近税会副会長 あいさつ

第5号議案の役員改選により新しく決まった役員の方々は、これから運営の程宜しくお願いします。また井戸本さんには生前第11区と12区での税政連活動について大変お世話になりました。衆議院が解散された場合は、引き続き、11区と12区の応援を宜しくお願いしますとあいさつがあった。

(姫路支部 上野政則)

奈良県支部連

日時 平成29年8月26日
 場所 春日ホテル
 来賓 高市 早苗 衆議院議員
 奥野 信亮 衆議院議員
 田野瀬太道 衆議院議員
 堀井 巍 参議院議員
 佐藤 啓 参議院議員
 辻井 賢博 近税政副会長
 西垣 潔 近税会奈良県支部連会長



高市議員（右）と武野後援会会长

■定期大会

奈良県支部連の定期大会が開催され、山本支部連会長のあいさつの後、上松康員会員を議長に選出し、役員改選を含む全ての議案が可決承認された。

■来賓のあいさつ

来賓として出席した各国会議員からあいさつがあった。高市議員からは、3年近くに及ぶ期間、総務大臣の職務を全う出来たことに対するお礼や、総務省と税理士との意見交換の意義についての話などがあった。奥野議員からは、総務副大臣に就任し、マイナンバーの普及やテレワークの普及に尽力したい旨の話があった。堀井議員からは、後援会設立に対するお礼の他、8月より外務省の仕事に関わることになったが、奈良のためにも尽力したい旨の話があった。

続いて行われた懇親会には、田野瀬議員と佐藤議員も臨席され、盛会のうちに終了した。

(奈良支部 景山良一)

和歌山県支部連

日時 平成29年9月2日
 場所 ルミエール華月殿
 来賓 岸本 周平 衆議院議員
 石田 真敏 衆議院議員
 世耕 弘成 参議院議員代理
 二階 俊博 衆議院議員代理
 鶴保 庸介 参議院議員代理
 後安 宏彦 近税政副会長

定期大会は、額田朋子会員の司会により開会し、これに先立ち、森村透支部連会長よりあいさつがあった。



定期大会では、速水慎一郎会員が議長に就任し、全議案可決承認された。来賓を代表して後安近税政副会長より、久保直己近税政会長からの祝辞代読と日税政定期大会に出席し、国会議員に税制改正要望をするよう働きかけがあった。たくさんの祝電披露の後、森村支部連会長より税制改正に関する要望書を国会議員に手交し、川口昌紀支部連副会長のあいさつで、定期大会は閉会した。懇親会が開催されるまでのわずかな時間であったが、岸本衆議院議員より国政報告があり、民進党代表選についての最新情報と岸本衆議院議員自身の力強い意気込みを披露していただいた。

定期大会終了後、同じくルミエール華月殿において、勝田晃夫会員による乾杯の発声で懇親会がはじまり、国会議員をはじめ会員との楽しい時間はあつという間に過ぎた。

(和歌山支部 小西里枝)

滋賀県支部連

滋賀県支部連の第36回定期大会が、9月7日、ホテルボストンプラザ草津にて開催された。

来賓として、うえの賢一郎衆議院議員、川ばた達夫衆議院議員秘書、近税政より久保直己会長が出席した。



織戸英信 新支部連会長

福田長利副幹事長の司会のもと、尾木秀治副会長が開会宣言を行った。そして鈴木勝博会長のあいさつの後、川辺恵子会員が議長に選出され、直ちに議事に入った。

平成28年度運動経過と収支決算、平成29年度運動方針と収支予算、役員改選の議案が上程された。各議案について、織戸英信幹事長から詳細な説明並びに提案があり、満場一致をもってすべて原案並びに提案どおり可決承認された。

その後、久保近税政会長のあいさつに続き、うえの議員より祝辞のなかで「税理士制度推進議員連盟事務局長としては引き続き、そして新たに財務副大臣としてより一層皆様と連携を取りながら頑張って参ります」とあいさつがあった。続いて川端議員のメッセージ代読、織戸新会長の就任のあいさつ、後援会より伊藤会長、本城会長、金子会長それぞれが日頃の支援に対しての感謝が述べられた。最後に戸次威左武副会長が閉会宣言し定期大会が終了した。

その後開催された懇親会では、こやり隆史参議院議員にも加わって頂き、両議員と会員皆和やかに歓談し盛会のうちに散会となった。

(草津支部 橋本淳)

近畿税理士政治連盟役員名簿

本部役員

役 職	氏 名		
名 誉 会 長	浅田恒博 (天王寺)		
顧 問	池田隼啓 (生野)		
相 談 役	宮田義見 (茨木)	大高友紀 (宇治)	杉上七三夫 (大淀)
	今中英雄 (茨木)	川本富美雄 (東)	雪松 弘 (東大阪)
	細谷陸雄 (堺)	大村恵美子 (奈良)	澤田千博 (姫路)
会 長	久保直己 (大津)		
副 会 長	河田秀雄 (城東)	原 綱宗 (下京)	徳富 真 (明石)
	辻井賢博 (葛城)	金子紀行 (大津)	後安宏彦 (和歌山)
	脇阪説男 (天王寺)	北村善和 (下京)	伊田憲司 (伊丹)
	森田 務 (奈良)		
総 務 会 長	橋本光世 (枚方)		
総務副会長	上田 実 (旭)	坂口明久 (天王寺)	
総 務	播本治男 (北)	杉田宗久 (西)	松本圭一 (北)
	石原健次 (天王寺)	北田全基 (東)	芦田和典 (北)
	永橋利志 (岸和田)	那須弘敬 (北)	相間宏章 (東)
	出川 洋 (葛城)	野村秀次郎 (明石)	藤本幸三 (東大阪)
	市木雅之 (下京)	新田博之 (旭)	北條 巍 (上京)
	吉澤俊二 (左京)	河合正美 (明石)	前田俊明 (姫路)
	田中啓允 (豊能)	速水慎一郎 (和歌山)	原 均 (御坊)
	本城善男 (長浜)	小林邦雄 (阿倍野)	西川一博 (福島)
	高砂昭宏 (豊能)	弓手宏亮 (東大阪)	呑海英治 (泉佐野)
	坂部 浩 (中京)	寺内設昭 (芦屋)	北村光子 (明石)
	阪上恭一 (西宮)	後藤加代子 (姫路)	山本眞市 (葛城)
	森村 透 (粉河)	織戸英信 (大津)	
幹 事 長	田 達満 (住吉)		
副 幹 事 長	道廣友厚 (枚方)	山本眞市 (葛城)	石津良行 (東大阪)
	小寺隆弘 (城東)	長谷川隆史 (灘)	小川由美子 (生野)
	室谷澄男 (上京)		
幹 事	仲田むつみ (西淀川)	大久保一成 (旭)	岩崎年秀 (葛城)
	若林日出紀 (南)	瀬古順子 (住吉)	鵜島幸夫 (和歌山)
	梅崎道夫 (東)	高岡 稔 (東大阪)	横井保夫 (長田)
	杉本和裕 (南)	高島正彰 (天王寺)	檜垣典仁 (浪速)
	中山 彰 (西成)	大森布実子 (枚方)	金子 薫 (吹田)
	高木晴雄 (吹田)	吉田和之 (右京)	森本幸子 (西宮)
	小西里枝 (和歌山)	山本敬三 (天王寺)	松尾康弘 (茨木)
	三木政司 (龍野)	山川典男 (阿倍野)	田野卓也 (福島)
	守部浩二 (豊能)	金田光世 (東大阪)	木戸朋宏 (泉佐野)
	北尾剛久 (下京)	寺崎 明 (神戸)	藤本 晃 (明石)
	近田勝介 (西宮)	春名 毅 (姫路)	阪上恭一 (西宮)
	刀祢真大 (和歌山)	竹中 弘 (草津)	武野勝文 (奈良)
会 計 監 事	杉本幸弘 (桜井)	奥村和義 (上京)	下山隆一郎 (北)

本部推薦審査会構成員

役 職	氏 名	
会 長	久保直己 (大津)	
	河田秀雄 (城東)	原 綱宗 (下京)
	徳富 真 (明石)	辻井賢博 (葛城)
	金子紀行 (大津)	後安宏彦 (和歌山)
	脇阪説男 (天王寺)	北村善和 (下京)
	伊田憲司 (伊丹)	森田 勿 (奈良)
	橋本光世 (枚方)	上田 実 (旭)
	坂口明久 (天王寺)	田 達満 (住吉)
	道廣友厚 (枚方)	山本眞市 (葛城)
	石津良行 (東大阪)	小寺隆弘 (城東)
	長谷川隆史 (灘)	小川由美子 (生野)
	室谷澄男 (上京)	小林邦雄 (阿倍野)
	西川一博 (福島)	高砂昭宏 (豊能)
	弓手宏亮 (東大阪)	呑海英治 (泉佐野)
	坂部 浩 (中京)	寺内設昭 (芦屋)
	北村光子 (明石)	阪上恭一 (西宮)
	後藤加代子 (姫路)	森村 透 (粉河)
	織戸英信 (大津)	

支部連会長・幹事長

支部連名	支部連会長	支部連幹事長
大阪府第 1	小林邦雄 (阿倍野)	山川典男 (阿倍野)
大阪府第 2	西川一博 (福島)	田野卓也 (福島)
大阪府第 3	高砂昭宏 (豊能)	守部浩二 (豊能)
大阪府第 4	弓手宏亮 (東大阪)	金田光世 (東大阪)
大阪府第 5	呑海英治 (泉佐野)	木戸朋宏 (泉佐野)
京 都 府	坂部 浩 (中京)	北尾剛久 (下京)
兵 庫 県 第 1	寺内設昭 (芦屋)	寺崎 明 (神戸)
兵 庫 県 第 2	北村光子 (明石)	藤本 晃 (明石)
兵 庫 県 第 3	阪上恭一 (西宮)	近田勝介 (西宮)
兵 庫 県 第 4	後藤加代子 (姫路)	春名 毅 (姫路)
奈 良 県	山本眞市 (葛城)	武野勝文 (奈良)
和 歌 山 県	森村 透 (粉河)	刀祢真大 (和歌山)
滋 賀 県	織戸英信 (大津)	竹中 弘 (草津)

大阪府連合会構成員

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	河田秀雄 (城東)	幹 事 長	山川典男 (阿倍野)
副会長	小林邦雄 (阿倍野) 西川一博 (福島) 高砂昭宏 (豊能) 弓手宏亮 (東大阪) 呑海英治 (泉佐野)	構 成 員	田野卓也 (福島) 守部浩二 (豊能) 金田光世 (東大阪) 木戸朋宏 (泉佐野)

兵庫県連合会構成員

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	徳富 真 (明石)	幹 事 長	寺崎 明 (神戸)
副会長	寺内設昭 (芦屋) 北村光子 (明石) 阪上恭一 (西宮) 後藤加代子 (姫路)	構 成 員	藤本 晃 (明石) 近田勝介 (西宮) 春名 毅 (姫路)

本部7委員会構成員

	政策委員会	財務委員会	組織委員会	国対委員会	選対委員会	広報委員会	後援会対策委員会
担当副会長	河田 秀雄(城東)	原 綱宗(下京)	徳富 熟(明石)	辻井 賢博(葛城)	金子 紀行(大津)	後安 宏彦(和歌山)	脇阪 説男(天王寺)
委員長	道廣 友厚(枚方)	山本 眞市(葛城)	石津 良行(東大阪)	小寺 隆弘(城東)	長谷川隆史(灘)	小川由美子(生野)	室谷 澄男(上京)
副委員長	仲田むつみ(西淀川) 大久保一成(旭) 岩崎 年秀(葛城)	若林日出紀(南) 瀬古 順子(住吉) 鵜島 幸夫(和歌山)	梅崎 道夫(東) 高岡 稔(東大阪) 横井 保夫(長田)	杉本 和裕(南) 高島 正彰(天王寺) 榎垣 典仁(浪速)	中山 彰(西成) 大森布実子(枚方) 金子 薫(吹田)	高木 晴雄(吹田) 吉田 和之(右京) 森本 幸子(西宮) 小西 里枝(和歌山)	山本 敬三(天王寺) 松尾 康弘(茨木) 三木 政司(龍野)
委員 大阪府第1	坂井 純造(東住吉)	服部 行男(住吉)	鳥家 誠(西)	大西 英樹(東)	後藤 健介(西成)	倉矢 勇(天王寺)	串阪 功(天王寺)
大阪府第2	吉住 隆弘(西淀川)	坂東不可止(福島)	米満 祥典(北)	田中 信大(大淀)	奥田 和男(門真)	仕田原恒雄(住吉)	今村 亮彦(旭)
大阪府第3	芝 宏(豊能)	与北奈須夫(豊能)	渡邊 肇(豊能)	山内 幹雄(茨木)	榎田 陽子(吹田)	村川 儀晃(城東)	西 義雄(東淀川)
大阪府第4	大和 剛(八尾)	八木 隆行(東大阪)	正木 隆行(富田林)	鷲田 薫(東大阪)	谷口 哲也(富田林)	河合 克彦(枚方)	山下 肇(豊能)
大阪府第5	坂本 博文(泉佐野)	高橋 克広(泉佐野)	細谷 新一(泉佐野)	臼間 真次(堺)	中島 浩(泉大津)	高岸 直久(茨木)	守部 浩二(豊能)
京都府	日向 明泰(中京)	中江 嘉和(右京)	二股 茂(左京)	高谷 真(東山)	綿田 浩昭(伏見)	梅原 文晃(東大阪)	久富木佳史(八尾)
兵庫県第1	南木 二郎(芦屋)	山口 竜義(芦屋)	樽井 博(神戸)	垣見 芳正(芦屋)	倉島 吉男(須磨)	笠井 善久(上京)	原田 宣昭(兵庫)
兵庫県第2	上村 正和(明石)	吉住いつみ(西脇)	藤本 秀樹(三木)	塙谷 久枝(加古川)	下山 仁(社)	吉田 智代(芦屋)	舛田 一夫(洲本)
兵庫県第3	岩泉 周治(尼崎)	小塙 明(西宮)	長谷川雅行(尼崎)	北見 龍彦(豊岡)	早淵 憲男(柏原)	川淵 佳子(明石)	今田 幸史(伊丹)
兵庫県第4	丸子 輝大(姫路)	前田 泰雅(姫路)	中田 昭二(姫路)	花房 賢司(相生)	薮中 豊成(籠野)	上野 政則(姫路)	林 文彦(伊丹)
奈良県	黒田 智紀(奈良)	岡司 節生(奈良)	今崎 善彦(奈良)	藤田 徹(葛城)	杉垣 輝樹(葛城)	東 真由美(奈良)	大谷 充廣(龍野)
和歌山县	川口 昌紀(和歌山)	谷井 茂紀(和歌山)	藤原 光男(和歌山)	島 紀郎(和歌山)	西川 明伸(和歌山)	吉田 廣彰(葛城)	足立 圭(桜井)
滋賀県	鳴林 博之(近江八幡)	箕浦 康之(長浜)	川上 長和(今津)	中島 誉子(草津)	岩田 剛(水口)	小川 宗彦(大津)	岸 友子(海南)
						若林 邦久(彦根)	川辺 恵子(大津)

支部長・支部幹事長

	支部	支部長	支部幹事長		支部	支部長	支部幹事長		支部	支部長	支部幹事長
大阪府第1	東	大西英樹	中田琢也	大阪府第4	東大阪	濱田明久	金田光世	奈良県	神戸	相内隆作	赤松健二
	南	若林日出紀	堀 浩司		富田林	瀧藤憲彦	正木隆行		灘	長谷川隆史	桑原幸司
	西	鳥家 誠	高橋修司		八尾	裏野榮士	大和 剛		芦屋	麻木邦子	西村圭二郎
	港	林 五郎	奥村大造		堺	安藤治彦	臼間真次		兵庫	満留久子	山田英信
	天王寺	妙中茂樹	串阪 功		泉大津	高岩弘至	森福清和		長田	下田順司	與 尚久
	浪速	榎垣典仁	下間 茂		岸和田	藤原政則	原 昭太		須磨	長田義博	寺嶋芳朗
	生野	山下博司	古田敦彦		泉佐野	星馬義宏	紺谷新一		明石	藤田晃三	上村正和
	東成	勇元清治	泉 隆雄		上京	村尾慎哉	河村吉宏		三木	藤本秀樹	小藤貴雅
	阿倍野	松尾雅泰	山川典男		中京	坂部 浩	日向明泰		西脇	蘆田裕三	吉住いつみ
	東住吉	坂井純造	中里博俊		下京	北尾剛久	中村英生		社	下山 仁	繁田進作
大阪府第2	住吉	服部行男	瀬古順子		左京	森 敏行	二股 茂		洲本	坂田哲也	舛田一夫
	西成	中山 彰	後藤健介		東山	山崎俊嗣	高谷 真		加古川	小川幸夫	澤木俊昌
	北	引地和生	米満祥典		伏見	木戸義人	繩田浩昭		柏原	足立孝和	早淵憲男
	大淀	佐藤裕之	金井純夫		右京	福田 敦	中江嘉和		豊岡	池口達生	北見龍彦
	旭	旭 輝明	赤松由里子		園部	吉田史樹	平田利男		和田山	能見洋八郎	大海敏彦
	福島	西川一博	田野卓也		福知山	細見 均	塙見 満		伊丹	岡田彰徳	今田幸史
	城東	河田秀雄	橋口泰幸		舞鶴	松下 弘	山田忠雄		西宮	阪上恭一	近田勝介
	西淀川	仲田むつみ	土本拡美		宮津	山井嘉文	高岡政義		尼崎	佐茂省治	長谷川雅行
	東淀川	神吉康史	横田 治		峰山	廣谷倫成	本井哲也		姫路	後藤加代子	山下 哲
	枚方	田邊 誠	道廣友厚		宇治	金澤好起	米田 茂		龍野	木藤紀宏	薮中豊成
大阪府第3	門真	並木正次	神原隆雄						相生	原 満弘	石野逸雄
	吹田	金子 薫	榎田陽子								
	豊能	高砂昭宏	守部浩二								
	茨木	古屋秀典	山内幹雄								

常識にとらわれない

先日、奈良県下4支部合同セミナーがあり、東京大学薬学部教授で脳研究者の池谷裕二先生の講演を聞いた。

スクリーンに白いキャンバスが映し出され「今から10秒間この白いキャンバスを凝視してください。10秒経った時に神様が現れます」と言わされた。実際10秒経った時に、ロングヘアで髪の生えた人物が現れたので、キリストだ、神様だと思った。しかし先生はただのホームレスにしか見えないとおっしゃった。初めに「神様が見えます」と言わされたので、脳が事前に神様が見えるかもしれないと認知してしまったから、ホームレスをキリストに見てしまった。常識にとらわれるとは、こういうことなのだと先生は言う。

もう一問質問があった。シマウマのシマ模様はどちらが正しいでしょう。

- ①白地に黒シマ模様
- ②黒地に白シマ模様

日本人にとってシマウマは「白地に黒シマ模様」が常識だろう。しかし所変わればアフリカの黒人に同じ質問をすると「黒地に白シマ模様」と答える人が圧倒的に多いそうだ。黒い肌に白ペイントで化粧をする文化圏では、私たちとは発想が逆転する。さらにシマウマの生息地はアフリカなのだから、現地の人がいう方が正しいのかもしれない。「常識」は所変われば「非常識」なのだ。ウルトラマンやアンパンマンも、見方を変えれば「常に暴力で問題解決を試みる悪人」かもしれないと、先生はその著書「ココロの盲点」に書かれている。

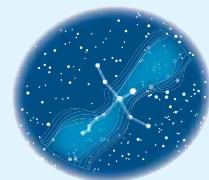
また、常識と非常識、善と悪などの二律背反は立場によって定義が反転するとも書かれている。自分たちの「常識」を見直してみるのも大切かもしれない。



近税政本部のうごき

- 第51回定期大会（9月15日）
- 第2回広報委員会（9月21日）
 - ・「第5回川柳・書道コンテスト」について
 - ・機関紙第226号（8月号）の批評
 - ・機関紙第227号（10月号）の編集に関する件
 - ・機関紙第228号（12月号）の編集企画に関する件 他
- 第3回正副幹事長会（9月29日）
- 第2回幹事会（9月29日）
- 第2回総務会（9月29日）
 - ・本部7委員会 委員長、副委員長、委員の委嘱について
 - ・委員会担当副会長の委嘱について
 - ・推薦審査委員の委嘱について
 - ・大阪府連合会、兵庫県連合会会长および同府県連役員の委嘱について
 - ・名誉会長、顧問、相談役の委嘱について 他
- 第2回推薦審査会（10月3日）
 - ・第48回衆議院議員総選挙における推薦候補者の決定について 他
- 選挙2法勉強会及び選挙支援体制の打ち合わせ会（10月6日）
 - ・第48回衆議院議員総選挙に際しての支援体制の確立について 他

銀河系



さる9月28日衆議院が解散し、衆議院議員総選挙も無事終わった。仮に師走選挙となると立候補予定者や自治体関係者だけでなく、議員と付き合いのある企業関係者ら支援者も選挙準備に追われ、飲食店から足が遠のくとみられているため、かき入れ時の飲食店の売り上げは落ち込んでしまう。しかし、数年前の師走選挙と異なり、忘年会シーズンを迎えた今年の繁華街の賑わいはどうだろうか。選挙不況になっていないだろうか。

忘年会とは、その年の苦労を忘れるために執り行われる宴会であるというらしいが、それよりも、相互の人間性について理解を深め業務がより円滑に行えるようにという趣旨でするものであり、業務の延長のようなものという意味合いの方が強いようだ。いずれにせよ、忘年会シーズンは、体を大切に楽しんでいただきたい。

(和歌山支部 小西里枝)

「表紙」題字:「第4回川柳・書道コンテスト」書道テーマ部門 最優秀会長賞作品

(作=小倉さやか 上京支部)

海外賞 海外表彰旅行ご招待

スイス方面

登録代理店表彰

280万円以上 (保険料月額)
or
28億円以上 (保険金額)

4名様

140万円以上 (保険料月額)
or
14億円以上 (保険金額)

2名様

210万円以上 (保険料月額)
or
21億円以上 (保険金額)

3名様

70万円以上 (保険料月額)
or
7億円以上 (保険金額)

1名様

紹介税理士表彰

100万円以上 (保険料月額)
or
10億円以上 (保険金額)

1名様

国内賞 国内表彰旅行ご招待

仙台方面

登録代理店表彰

50万円以上 (保険料月額)
or
5億円以上 (保険金額)

2名様

70万円以上 (保険料月額)
or
7億円以上 (保険金額)

2名様

第28回

『総合事業保障プラン』 推進キャンペーン

本組合では、近畿税理士企業共済会の「3つの繁栄」という基本理念に基づき、大同生命保険株式会社との業務提携を通じ、関与先企業への「総合事業保障プラン」のさらなる推進活動の一環としてキャンペーンを実施しています。

第1次：平成29年 6月1日～平成29年 7月31日(2カ月間)

期 間 第2次：平成29年 10月1日～平成29年 11月30日(2カ月間)

年 間：平成29年 4月1日～平成30年 3月31日(12カ月間)

表彰基準 年払、半年払の保険料は、1カ月分の保険料に換算(1/12、1/6)する。

表彰式・祝賀会 平成30年5月11日(金)
リーガロイヤルホテル

優秀賞

登録代理店表彰

2万円(商品券)

30万円以上(保険料月額)
or
3億円以上(保険金額)

紹介税理士表彰

1万円(商品券)

50万円以上(保険料月額)
or
5億円以上(保険金額)

5千円(商品券)

30万円以上(保険料月額)
or
3億円以上(保険金額)

理事長賞

登録代理店表彰のみ

保険料月額の上位3名
1位 10万円(商品券)
2位 7万円(商品券)
3位 5万円(商品券)

保険金額の上位3名
1位 10万円(商品券)
2位 7万円(商品券)
3位 5万円(商品券)

奨励賞

登録代理店表彰のみ

表彰式・祝賀会ご招待

10万円以上(保険料月額)
or
1億円以上(保険金額)

**第1次・第2次
キャンペーン賞**

登録代理店表彰

1万円(商品券)

10万円以上(保険料月額)
or
1億円以上(保険金額)

紹介税理士表彰

5千円(商品券)

10万円以上(保険料月額)
or
1億円以上(保険金額)

(実施基準)
※海外賞・国内賞・優秀賞・奨励賞は、重複して表彰いたしません。
※海外賞及び国内賞受賞者が旅行に不参加の場合は、海外表彰旅行招待者1名につき商品券5万円分、国内表彰旅行招待者は、商品券2万円分(2名招待分)を進呈します。(ただし、事前申請者に限る。)
※上記表彰旅行等の代表参加者及びご同伴者は、入賞者の家族(3歳未満の者を除きます)または事務所職員に限らせていただきます。
※海外賞の入賞者が国内表彰旅行への参加を希望する場合は、国内表彰旅行に変更することができます。
ただし、事務所職員として海外表彰旅行不参加に対する商品券の進呈はありません。
※上記表彰旅行等の代表参加者及びご同伴者は、祝賀会にご招待。
※審査員が選出する受賞者に伴う賞金・賞品(表彰旅行等を含む)は、課税所得の対象となり申告義務が生じますので、適正な申告をお願いします。

大同生命「登録代理店」制度について

本組合では、上記キャンペーンの他、「紹介状」の活用、セミナーの開催(大同生命共催)、新規登録代理店への商品券の進呈等、「登録代理店」の拡大に向けて積極的に事業推進に取り組んでおります。「登録代理店」制度へのご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

大同生命「登録代理店」制度についてのお問い合わせ 大阪・奈良税理士協同組合 事務局 TEL.06-6941-6888

大阪・奈良税理士協同組合

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4(近畿税理士会館11F)
TEL(06)6941-6888/FAX(06)6947-2800
URL : <http://www.hanna-zeikyo.jp>